



TDAS, UDAS入門 ～インストール&セットアップ～

平成26年度国立極地研究所研究集会「太陽-地球大気の地上多
点観測データ総合解析ワークショップ」
@極地研(2014年8月20日)

阿部修司(九大ICSWSE)



UDASのインストール①

IUGONETウェブサイト : <http://www.iugonet.org>



- お知らせ -
- ・ニュースレター No.6, 2014年度パンフレットを発行しました(2014年4月11日)
 - ・TDAS/UDASユーザーズガイドを公開しました(2014年3月10日)
 - ・UDAS v3.00.3をリリースしました(2013年12月28日)

ここをクリック。

本プロジェクトでは、超高層大気に関する地上観測データのメタデータデータベースを構築し、分散管理されてきた観測データの流通を図ります。さらに、それらを元的に取り扱うことが可能な解析ソフトウェアUDASを開発し、観測データの総合解析を促進します。これにより、全球規模で起こる超高層大気の一連の諸現象の解明に貢献する研究推進基盤の構築を目的とし、分野横断的な研究の促進を目指します。



IUGONET 超高度大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究
Interuniversity Upper atmosphere Global Observation Network

プロジェクト 解析ソフト メタデータDB 研究集会 English

いいね! 返信 17人が「いいね!」と書んでいます。Facebookに登録して、友達に「いいね!」を見てみましょう。

IUGONETデータ解析ソフトウェア - UDAS

トピックス

- UDAS v3.00.1がリリースされました。TDAS最新版v8.00用です。こちらよりご自由にダウンロードしてご利用下さい。(2013年6月10日)
- IUGONETユーザー用のメーリングリストへのご登録は[こちら](#)から。
IUGONETプロダクト(UDAS、メタデータDB)に関する役立つ情報を配信致します。

UDASの概要

IUGONET Data Analysis Software (UDAS)は、THEMIS衛星データの解析ソフトウェアTHEMIS Data Analysis Software suite (TDAS)のプラグインソフトウェアで、

- IUGONETデータ(地磁気、レーダーデータ、オーロラ画像等)、衛星データ(THEMIS、GOES、WIND、ACE)、その他多種多様な時系列データの並列表示、
- 多彩な解析ツールの利用、
- 観測データにオンラインアクセス、ユーザーのコンピュータ上に自動的にダウンロード、

が可能です。

スクリーンショット

過去の講習会の資料等

UDASで扱えるデータとロードコマンドのリスト

[使い方](#)

[UDASロードプロシージャの一覧](#)

<http://www.iugonet.org/software/install.html>

UDASのダウンロード

バージョン	ファイル名 (サイズ)
3.00.3 (for TDAS v8.00)	udas_3_00_3.zip (約1MB)
以前のバージョン	ファイル名 (サイズ)
3.00.2 (for TDAS v8.00)	udas_3_00_2.zip
3.00.1 (for TDAS v8.00)	udas_3_00_1.zip
2.01.1 (for TDAS v7.01)	udas_2_01_1.zip
2.00.2 (for TDAS v7.00)	udas_2_00_2.zip
2.00.1 (for TDAS v7.00)	udas_2_00_1.zip
1.00.1 (for TDAS v6.00)	udas_1_00_1.zip

最新のバージョンは、ここからダウンロードします。
2014年8月20日現在の最新版は、バージョン3.00.3 (for TDAS v8.00)

リソースノート

- [WhatsNew.txt](#)

諸注意

- UDASをダウンロードされる際に、IUGONETユーザー用のメーリングリストに登録されることを推奨します。登録申請は[こちら](#)。
- TDAS/UDASはIDL6.3〜7.1上での動作確認済みです。IDL8.0以上でも使用可能ですが、動作上重要ではない問題がいくつか確認されています。
- TDASv8.00以降では、UDASが含まれた形で配布されており、TDASをインストールするだけでUDASの利用が可能ですが、上記のUDAS最新版を追加インストールすることによって、TDASの更新を待たずに最新のUDASロード関数の利用が可能となります。
- UDASには、SuperDARNレーダーデータのロードプロシージャが含まれています。日本のSuperDARNレーダーデータ(HOK,KSR,SYE,SYS)のCDFファイルは、日本のSuperDARNのPIグループ(名古屋大学, NICT, 極地研)との共同開発により、名古屋大学太陽地球環境研究所のERG-SCによって配布されています。

日本語のインストールマニュアルがあります。

UDASインストール方法

以下のマニュアルを参考にインストールして下さい。

- [インストールマニュアル\(日本語; PDF; TDASインストール方法も含む\)](#)
- [\(B\)インストールマニュアル\(日本語; PDF\)](#)

TDAS & UDASのインストール動画が見られます。



それでは、実際にインストールしてみましょう！

(以下は、IDL7.1をインストールしている例です。)

1. 以下からUDASをダウンロードする。

http://iugonet0.nipr.ac.jp/lecture/udas_8_00_b1.zip

例えば、

- ・ Windowsの場合、C:\Program Files\ITT\IDL71\external\
- ・ Mac OS Xの場合、/Applications/itt/idl71/external/

2. zipファイルを解凍する。

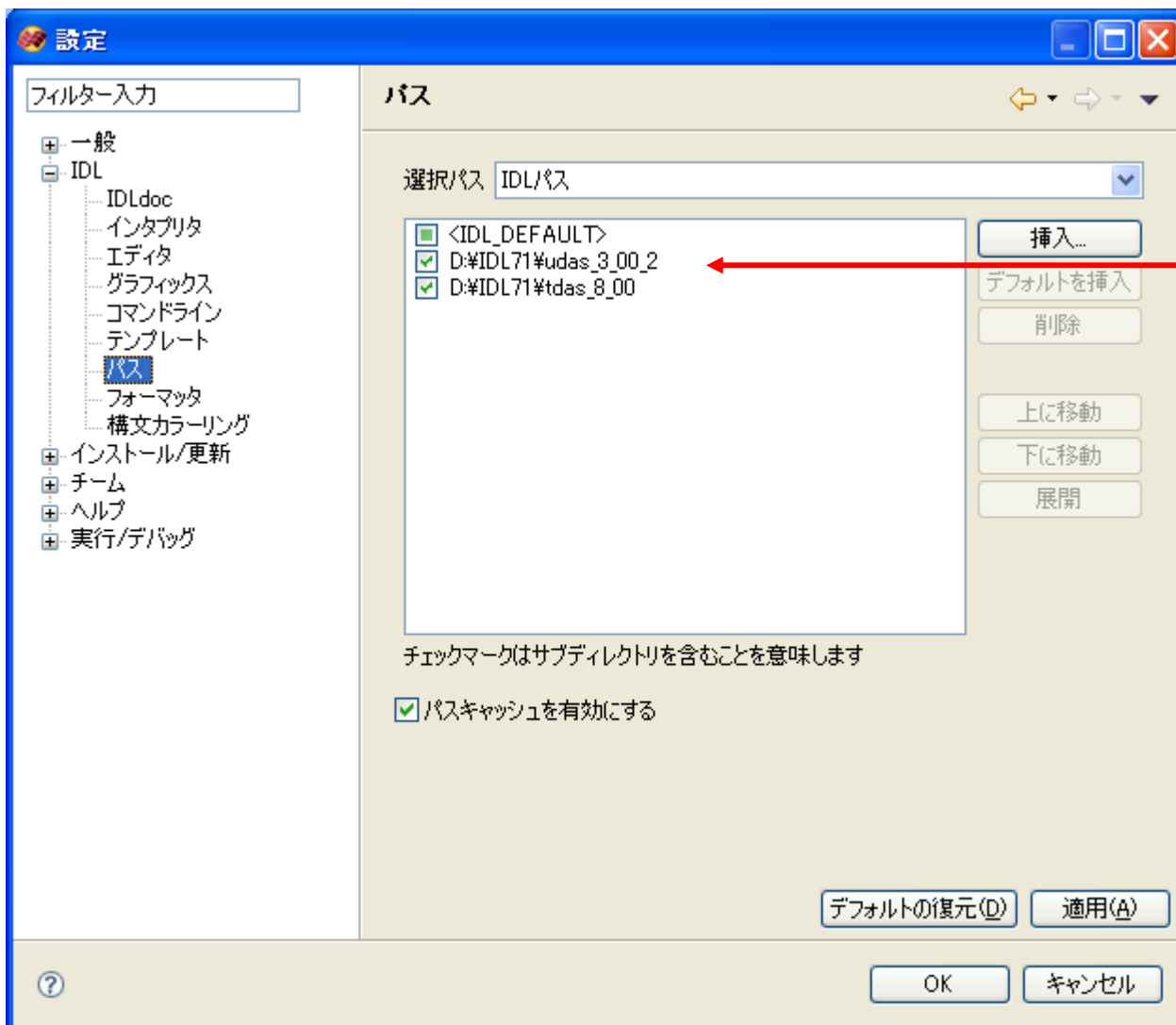
3. IDL Workbenchを起動する。

- WindowsXP, 7の場合：スタート→すべてのプログラム→IDL 7.1
→IDL Workbench
- Mac OS Xの場合：アプリケーション→itt → idl → IDL WorkBench

4. パスの設定

- Windowsの場合：
 - (1) ウィンドウ→設定
 - (2) IDL→パス→挿入→ (udas_8_00_b1を選択)
 - (3) 左側のチェックボックスにチェック→上に移動→OK
- Mac OS Xの場合：
 - (1) メニューバーのIDLWorkBench → Preferences
 - (2) IDL →パス→挿入→ (udas_8_00_b1を選択)
 - (3) 左側のチェックボックスにチェック→上に移動→OK

パスが、以下のウィンドウのように設定されていればOK (Windowsの場合)



必ず、
udas_8_00_b1が
tdas_8_00
より、上にあること。

IUGONET: Load Data

THEMIS THEMIS Derived Spectra GOES WIND ACE IUGONET OMNI

IUGONET Data Selection:

Start Time: 2007-03-23/00:00:00

Stop Time: 2007-03-24/00:00:00

Use Single Day

Instrument Type: Automatic_Weather_Station

Data Type: Automatic_Weather_Station
Boundary_Layer_Radar
troposphere
EISCAT_radar
Equatorial_Atmosphere_Radar
geomagnetic_field_fluxgate
geomagnetic_field_induction
geomagnetic_field_index
HF_Solar_Jupiter_radio_spectrometer
Iitate_Planetary_Radio_Telescope
Imaging_Riometer
Ionosonde
Lower_Troposphere_Radar
Low_Frequency_radio_transmitter
Medium_Frequency_radar
Meteor_Wind_radar
Middle_Upper_atmosphere_radar
Radiosonde
SuperDARN_radar#
Wind_Profiler_Radar (LQ-7)

Parameter(s)-2:

Data Loaded:

5. 動作確認

(1) IDL> thm_gui

(2) File→Load Data

(3) IUGONET Dataタブをクリック。

左のように、Instrument Typeの数が増えていれば、成功。例えば、リストに
HF_Solar_Jupiter_radio_spectrometer
が入っていれば、OK。

Delete All Data

Done

(2013-08-20/06:21:28) 9: Chosen dtypes: [ask/ask/11]